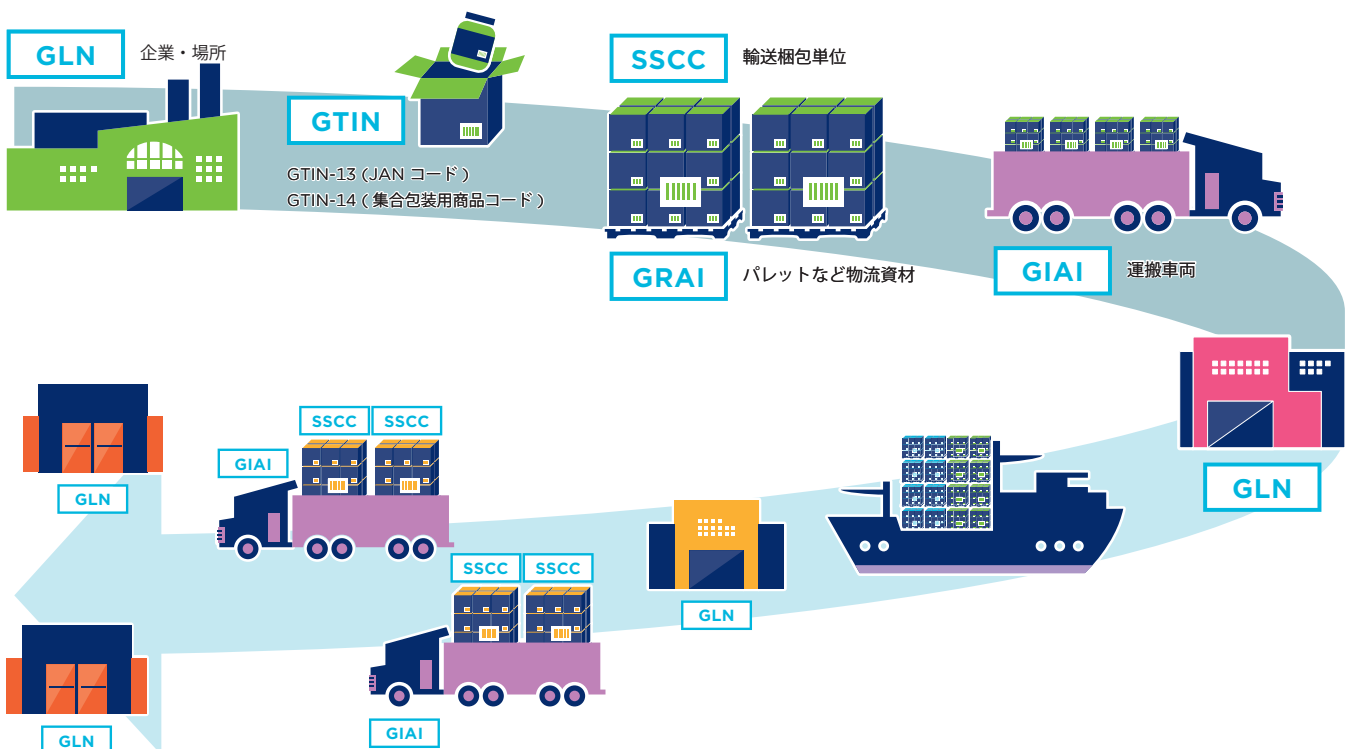


「物流の標準化」には国際標準の識別コードを！

GTIN-13 (JAN コード) をはじめとする GS1 識別コードは、様々なモノ・場所を世界中でユニークに識別することができます。

物流の現場では、輸送単位の荷物や出荷・配送地点などの場所、物流資材、運搬車両などに GS1 識別コードを用いることにより、企業間や他の業界との連携もスムーズに行えるため、物流の効率化が期待できます！



GS1 識別コードを使うメリット

サプライチェーン全体で活用できる

メーカーから小売まで物流全体で一貫したモノの識別が実現可能。モノの追跡、トレーサビリティにも。



システム開発コストを抑えられる

システム構築の際にも、標準仕様を採用することで個別のカスタマイズが不要に。



取引先との個別調整が不要

世界中で重複なく使えるので、各取引先との個別調整が不要。企業ごとのバーコードの付け替え等も不要。

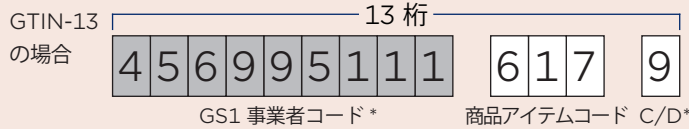


物流分野で使える GS1 識別コード

ジーティン
GTIN
商品識別コード



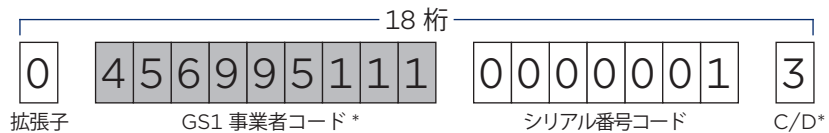
GTIN-13・GTIN-8 (JAN コード) や GTIN-14 (集合包装用商品コード) などの各種の商品識別コードの総称。



エスエスシーシー
SSCC
出荷梱包シリアル番号



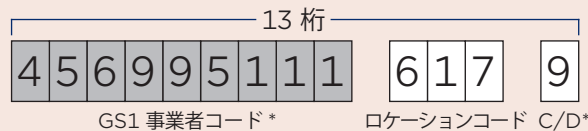
- 複数の段ボールケースを積みつけたパレット単位などを識別
- 検品作業の効率化などに役立ちます



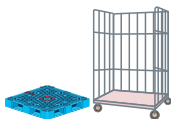
ジーエルエヌ
GLN
企業・事業所識別コード



- 工場・物流センター・店舗などの場所や組織を識別
- EDI や ASN で出荷元や出荷先の識別に利用します



ジーアールイーアイ
GRAI
リターナブル資産
識別番号



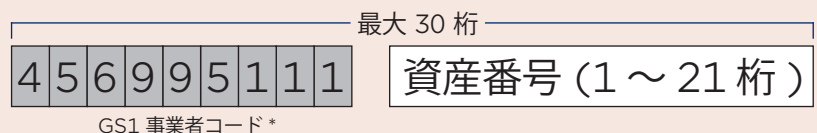
- カゴ台車やパレットなど、繰り返し使われる資材を識別
- 在庫管理や所在確認、メンテナンスなどに役立ちます



ジーアイイーアイ
GIAI
資産管理識別番号



- トラックやコンテナなど、企業の資産を識別
- それぞれの資産に資産番号を設定し、個別に管理できます。



* 各識別コード体系は GS1 事業者コードが 9 桁の場合。C/D はチェックデジットの意。

活用イメージ



GS1 識別コードで荷物や場所・資産などをユニークに識別し、サプライチェーン全体でスムーズに連携!



GS1 Japan (一般財団法人流通システム開発センター)

URL: www.gs1jp.org Mail: aidc@gs1jp.org